

優良賞

耐え忍ぶ

张 思 友
ZHANG SI YOU

三年間の研修と実習もあと10ヶ月で終わり、そろそろ中国に帰ります。日本に滞在中皆様にはとてもお世話になりました。仕事らしい仕事もできず、何かとご迷惑をおかけしました。それでも皆様暖かく私を受け入れてくださり、本当にありがとうございます。皆様と楽しく過ごした日々は、昨日のこのように頭に浮かんできます。

つい最近、組合の先生が私達の寮に来て雑談をしていた時、生活の話になり“おいしいおかゆはどうすれば出来るか？”と聞かれました。私はおかゆを作った経験があるので、ゆっくりとぐつぐつ煮込めばおいしいおかゆが作れると答えました。

私達の生活もこれと同じようなことではないかと感じ、あせらず充実感がある生活をすれば、どんな困難にも“耐え忍ぶ”ことが出来ると思いました。

人は母のお腹の中で“耐え忍ぶ”ことを自然に覚えて、10ヶ月の間、小さな胎児からだんだんと人の形に成長します。その間、お腹の中で随分とつらい思いをしたので、出てきたときに「わあわあ」と泣くのではないのでしょうか？

おかゆを煮るように、生まれてから、少しずつ言葉を学び、食べることや歩くことも学びました。その後、初等中学、高校、大学と“耐え忍び”ました。日の出から日没まで辛抱して過

ごし、雨雪に耐えながら春夏秋冬、私は成長しました。

そして、日本にやって来ました。最初一番大変だったのは日本語が分からないという事でした。一週間、一ヶ月、勉強しても通じなくて、あきらめるところでしたが、そんな時、組合の先生に「言葉というものは、一日、一ヶ月勉強して効果が出るものではない。毎日勉強の積みかされでと達するものであって、毎日二、三時間勉強する時間を決めて、どんないそがしくても続けられたら、耐え忍べたら、まちがいなく、上手になり日本語一級が受かる」と言われました。今先生の言うほどではありませんが、二年間勉強しつづけ、今では仕事も生活もほとんど困まることなくになりました。

すべての人の生活はいつも順調に帆をあげることは出来ません。多くの場合、私達には何かを変える力はありません。歩いてつまずいても歩くことを放棄することはできません。私達が出来ることは“耐え忍ぶ”ことです。煮えたおかゆのようにかきまぜながら心を穏やかにして出来上がった時、おいしいおかゆを食べることが出来ます。

私達の生活の見かけは大同小異です。しかし“耐え忍ぶ”過程は異なっています。ピータンの赤いおかゆはおいしくて、海鮮のおかゆは味があるように“耐え忍び”そのエキスを加え、生活を多彩に、充実したものにしていけば日本に来たのは無駄ではなくなります。

よい生活は“耐え忍び”ながらゆっくりと習得するものだと思います。

区 分	技能実習生
国 籍	中国
職 種	ダイカスト
受入れ企業	服部ダイカスト工業株式会社
受入れ団体	情報リンク協同組合